

次代を担う若い声を市政に！

令和4年度 旭市子ども議会

7月26日に3年ぶりとなる子ども議会が開催されました。一般質問を行ったのは、市内小中学校20校から20名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模擬体験をしました。

議事進行役は旭市議会の木内欽市議長が務め、市長をはじめ各課長が質問に対して答弁にあたりました。



廃校の活用方法は

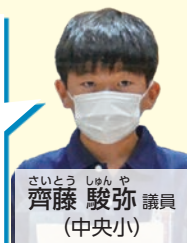
旭市の学校が少しずつ統合すると聞き、私は廃校になった学校を飯岡漁港で獲れた魚を展示できる「水族館」や、農業を活かした「道の駅」として活用できないか考えました。市ではどのように考えていますか。

教育長

廃校となった学校は、校舎を集会所、保育所、学童施設や高齢者施設などにする方針です。提案してもらったアイデアは、廃校の活用方法の一つとして参考にさせていただきます。

文化の杜公園のすみ分けを

文化の杜公園は自転車の乗り入れが禁止されていますが、広くて自転車の練習をするには最適な場所です。小さい子どもの遊ぶスペースと自転車を使用できるスペースを決め、すみ分けすることはできないでしょうか。



都市整備課長

公園は小さな子どもからお年寄りまでが、分け隔てなく安心して過ごせる空間を提供することを目的として、「自転車を使用できるスペース」を設置する考えは今のところありません。

おひさまテラスで期日前投票を

おひさまテラスに期日前投票所を設置すれば、小さな子どもがいる方や買い物に来る方などが気軽に投票でき、また、選挙について子どもが学べるイベントなどを行うとより投票につながると思います。



市のPRパンフレット作成を

旭市の魅力を多くの人に広めるためにPRパンフレットを作成して、他市の道の駅や宿泊施設に置いてはどうか。また、子ども向けのPRパンフレットも作れないでしょうか。

商工観光課長

市では定期的に観光パンフレットを作成して、市内外の人が集まる施設などに置いています。子ども向けのパンフレットについては、今後、どんな見せ方や表現をしたら小中学生の方が興味を持って見てもらえるかを考えていきたいと思っています。

総務課長

おひさまテラスで期日前投票を行うには、二重投票防止のためのシステムを導入する必要があり、新たに多くの経費が掛かってしまうため難しいと考えます。おひさまテラスを活用した選挙啓発については検討します。



市の行事をオンライン配信で

コロナで多くの行事が中止になっていますが、オンラインで行事を配信したり、ゲームのようにバーチャル空間を作って行事を体験できるようにすれば、誰でも楽しく行事に参加できるようになると思います。

商工観光課長

花火大会の花火の音や、目の前に漂う煙や火花など、ぜひその場で体験してもらいたいイベントがある一方で、オンラインの良さを活かした行事やイベントを、将来的には作っていく必要があると思います。

プラスチックゴミ対策を

海岸にペットボトルやお菓子の袋などが捨てられていて、これらプラスチックを他の生き物が食べて死んでしまうこともあります。プラスチックゴミによる自然環境汚染についてどのように取り組んでいきますか。



環境課長

旭市ではたくさんの方々のボランティアにより、海岸の清掃活動をしてもらっています。これからも市民の皆さんをはじめ、ボランティア活動を支援し、きれいな旭の海岸を守っていきたくと考えています。

ネットで話題になる遊具設置を

旭市の公園にネット上で話題になるような遊具の設置を提案します。例えば「日本一長い滑り台」を設置すれば、観光客もたくさん来るようになり、より楽しい市になると思います。



歩道やガードレールの設置を

豊畑小では車通りが多いにも関わらず歩道のない道を通って毎日登校している人がいます。安心して登下校するために、歩道やガードレールを設置できないでしょうか。

建設課長

狭い道路などに歩道を設置するには、土地の協力を得るなど、長い時間がかかってしまうこともあります。このような中、少しでも歩行者を守るために、白線の外側を緑色に着色し、歩行者が歩くところをはっきりと区別する「グリーンベルト」の設置を進めています。

都市整備課長

茨城県の「奥日立きららの里」にある滑り台が、全長1188メートルで日本一長いそうです。旭市は平坦な公園が多く、日本一長い滑り台は難しいですが、今後もみんなが楽しく遊べる公園の整備に努めていきます。



公共施設のICT環境整備を

私は補聴器をつけていますが、学校で1人1台タブレットが整備されたので、先生の話の文字に変えたり、こうして文字を音声にして伝えられるようになりました。市役所や図書館などでもICT環境を整えてほしいです。

道路脇のU字溝にふたの設置を

道路脇のU字溝にふたがついていない所があります。歩行者や自転車に乗っている人が車をよけた時に落ちてしまいそうになるので、道幅の狭い道路や歩行者の多い道路のU字溝にはふたをつけてもらえないでしょうか。



企画政策課長

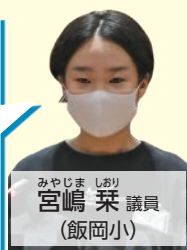
公共施設のタブレット整備は、現在のところ予定はありませんが、国のデジタル庁では、すべての人がICTなどのデジタル技術を利用できる社会を目指しているので、旭市もそれに沿って進めていきたいと考えています。

建設課長

U字溝のふたは、道路が造られた時期や道路脇の土地の高さなど、様々な理由で設置されています。ふたの設置については、地元の区長さんや住民の方などとよく相談して進めていきたいと考えています。

避難所の感染症対策推進を

コロナ禍で災害時の避難所生活に不安を抱える人もいるのではないのでしょうか。予備マスクの保管や着替える際に避難所内で使用できるテントの準備など、感染症対策の推進を要望します。



空き家の有効活用を

家の近所に空き家があり、今にも壊れそうで危ないと感じています。旭市にある空き家をシェアハウスや介護施設、地域の方が集まれる公共施設にすれば、より住みやすいまちになると思います。

総務課長

避難所での感染リスクを減らすため、様々な対策備品を揃えています。質問のマスクやテントもその一つで、マスクは用意ができなかった人がいた場合に、テントは3密への対策とプライバシーの確保のために準備しています。

都市整備課長

旭市には空き家と思われる建物が1000件以上あります。空き家は所有者の管理する財産なので、所有者の方に、空き家とその跡地の有効な活用や、適切な管理を行ってもらうよう働きかけていきます。



萬歳自然公園の整備を

萬歳小の近くには萬歳自然公園という自然豊かな公園がありますが、遊具はすべて撤去され、展望台しかありません。安全点検の回数を増やしてきちんと整備したり、新しい遊具を設置できないでしょうか。

都市整備課長

園路や手すりの清掃等、施設が安全に利用できるように努めています。また、新たな遊具については、萬歳自然公園の利用状況を市内のほかの公園と比べてみて、設置するかどうか検討していきたいと思います。

海のゴミを拾う日を作っては

海岸には多くのゴミが落ちています。私は家族とゴミを拾いに行きましたが、範囲が広く自分達だけでは難しいと感じました。そこで旭市全体で海のゴミを拾う日を作ることを提案します。



環境課長

市の行事として海岸清掃の日を作ることは、現状では難しいと考えます。年間を通して、海岸清掃をしているボランティアの方たちがたくさんいるので、こういう人たちを支援していきたいと考えています。

コロナの不安解消の取り組みを

コロナに感染すると様々な不安を抱えますが、私の学校ではタブレットで授業配信をしているので学習への不安は減らせています。市ではコロナの影響を受けた方の不安を解消するためにどのような取り組みをしていますか。



医療サービスの拡充予定は

以前夜に熱を出して旭中央病院に行った時、混み合っていて長い時間待ちました。働いている母親もたくさんいるので、夜に開いている病院や気軽に相談できる場所があるといいと思いますが、今後の予定はありますか。

健康づくり課長

市ではタブレット端末による学習機会の確保ほか、給付金や貸付金など経済的な支援の実施や、PCR検査費用の助成を行っています。また、差別や偏見を抱くことのないよう、正確な情報発信に努めています。

健康づくり課長

夜間に対応してくれる病院を増やすことは難しい状況です。夜間相談できる場所としては、千葉県が実施している「救急安心電話相談」や「こども急病電話相談」があるので、利用してもらえればと思います。



リサイクルBOXの設置を

海上中では校内にペットボトルキャップや梱包材を回収する「リサイクルBOX」を設置しています。公共の場にも設置すれば、捨てない意識が高まり持続可能な社会に繋がると思います。

環境課長

現在、市役所本庁舎などの公共施設に、小型家電品の回収ボックスと使用済みの蛍光灯、電池、ライターなどの有害ごみを回収するボックスを設置しています。今後も様々な方法を検討しながら、リサイクルの推進に努めていきたいと思います。

通学路の雑草の草刈りを

通学路に雑草が伸びて通りにくい箇所があります。雑草は通行の妨げになるだけではなく、害虫を呼び寄せる原因にもなるので、地域の方と協力しながら迅速に草刈りを行ってほしいと思います。



建設課長

市では通学路や危険箇所などを優先的に草刈りを実施しています。また、現在ボランティアの方による草刈りも実施してもらっており、今後さらに協力体制を強化して、通学路の安全確保に努めていきたいと思います。

地域の防犯対策を

通学路の防犯灯が少ないと感じるので増やしてほしい。また、農業者の中には家の鍵をかけずに出てしまう方がいるので、防災無線を使って家の施錠を呼びかけられないでしょうか。



雨の日でも遊べる屋内施設を

使わなくなった学校を利用して雨の日でも遊べる屋内施設を造ってはどうか。学校なら遊具や体育館があるのでボール等で遊ぶこともできるし、避難所にも利用できると思います。

総務課長

防犯灯は、市民生活の安全を確保する上で有効な手段の一つなので、必要に応じて今後も増やしていきたいと考えます。防災無線で施錠を呼びかける放送は、市内で空き巣や忍び込みが頻発するなど、警察との連携により被害の拡大防止を急ぐ必要がある場合に実施します。

市長

廃校となった学校の活用方法については、体育館を避難所や地域のスポーツ施設、スクールバスのバスターミナルとして活用することを想定しています。提案してもらったアイデアも一つの案として、今後、地域の関係者と話し合いながら検討していきます。